学校番号	1007

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　化学　（数研出版）						
副教材等	インプレス化学　（浜島書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・化学的な事物・現象に対する探究心を高める科目として、実験や観察を行うときには自らの根拠や目的意識をもって取り組んでください。
・基本的な知識の習得から、さらに発展的に考えられえるように多くの「知識・技能」の習得にも励んでください。
・無機化合物、有機化合物では日常的に使用されている化学物質も多く出てきます。「化学」がどのようなことに活用されているのか意識をもって生活してみましょう。
・プリントを綴じるファイルと問題集用のノート用意してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・　化学に関する基本的な用語を理解することができる
・　実験を通して、化学の基本的な概念や原理・法則について深く理解する
【思考力、判断力、表現力等】
・　授業で学習した知識を用いて、実験の結果を予測することができる
・　実験・観察から、化学的に探究する能力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】
・　化学的な事物・現象に対する探究心を高め、積極的に学びに向かい、課題を解決しようとする力を身につける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な事物・現象についての観察・実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。	化学的な事物・現象に対して、主体的にかかわり、それらに対する気づきから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	有機化合物	第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 芳香族化合物 第4章 アルコールと関連化合物	a：有機化合物について基本的概念を理解している。 b:有機化合物は炭素を中心に数種の元素が組み合わさってできていることを見出すことができる。 c:有機化合物の多様性に関心をもち、結合の仕方や構造を意欲的に調べようとする。	定期考査 確認テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	提出物 実験レポート 授業態度
2	高分子化合物	第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	a:生活や生命にかかわる高分子化合物の基礎的な分類、特徴を理解する。 b:合成高分子化合物、天然高分子化合物の構造、性質について考えることができる。 c:高分子化合物、有機化合物に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 確認テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	提出物 実験レポート 授業態度
	物質の状態	第2章 気液平衡と蒸気圧 第4章 溶解度、コロイド溶液	a:物質の状態と変化について基本的知識を身につけている。 b:気体や溶液についての基本的な性質、特徴を理解し考えることができる。 c:身の回りで起こる状態変化などと関連付け、興味・関心をもって学ぼうとする。	定期考査 確認テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	提出物 実験レポート 授業態度
3	物質の変化	第1章 化学反応とエネルギー 第4章 化学平衡	a:化学反応とエネルギーについて、反応の仕組みなど基本的概念を理解している。 b:物質のもつエネルギーの差がエンタルピーとなることを理解し、エネルギー図を考えることができる。 化学平衡について理解し、条件変化による平衡の移動が判断できるようになる。 c:私たちの身の回りで起こる化学反応に興味を持ち、探究することができる。	確認テスト 実験操作	実験レポート	提出物 実験レポート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度